

平成24年度 第4回中国地方整備局事業評価監視委員会 審議一覧表

【事後評価】

NO.	事業種別	事業名	事業概要	事業年度	備考
1	道路	一般国道9号 出雲バイパス	一般国道9号は、京都市から下関市に至る延長約760kmの主要な幹線道路であり、沿線地域の産業・社会活動や住民の生活に大きな役割を果たす重要な路線である。 出雲バイパスは、出雲市斐川町倉村から出雲市芦刈町に至る延長約8.7kmの道路であり、国道9号の市街地部における朝夕ピーク時における交通渋滞の緩和を図るとともに、安全で円滑な交通の確保、医療機関へのアクセス向上、宍道湖・中海圏の経済交流の拡大を目的としている。	昭和49年度～平成20年度	
2	道路	一般国道2号 岡山市内立体	一般国道2号は、大阪市を起点として瀬戸内海沿岸の主要都市を經由し、北九州市に至る延長約670kmの主要幹線道路である。 岡山市内立体は、岡山市南区洲崎から岡山市西区の延寿5.0km間における主要交差点の立体化事業であり、平面交差点を立体化することで当該区間の混雑緩和や、交通安全を確保するとともに、交通基盤の強化および物流の効率化を図るものである。	平成15年度～平成19年度	
3	道路	一般国道2号 厚狭・道生バイパス	一般国道2号は、大阪市を起点として瀬戸内海沿岸の主要都市を經由し、北九州市に至る延長約670kmの主要幹線道路である。 厚狭・道生バイパスは、宇部市逢坂から下関市屋敷町二丁目に至る延長12.6kmの道路であり、当該区間における交通混雑の緩和、交通安全の向上、地域経済の活性化などを目的としている。	昭和48年度～平成19年度	
4	道路	一般国道188号 岩国南バイパス	一般国道188号は、岩国市を起点とし、下松市に至る延長約72kmの主要な幹線道路である。 岩国南バイパスは、岩国市山手町から岩国市藤生町に至る延長4.9kmの道路であり、岩国市内における渋滞緩和及び交通安全対策、沿道環境の改善、日常生活における利便性の向上などを目的としている。	昭和61年度～平成19年度	
5	河川	江の川下流水防災対策特定河川事業 (吾郷地区)	江の川はその源を広島県北広島町阿佐山に発し、広島県から中国山地を貫流して日本海に注ぐ中国地方最大の河川である。 昭和47年7月洪水は、江の川全域に降雨をもたらせ、戦後最大洪水となり、流域全域に甚大な被害をもたらした。その後も昭和58年7月洪水では、下流に降雨が集中し、多くの浸水被害が発生した。 吾郷地区は地盤高が低く流下能力が不足しているため、治水対策が必要であるが、通常の堤防方式では堤防延長が長く、さらに築堤高が高くなるため、膨大な費用と年数が必要となり、事業効果発現に時間を要する。そのため、各地の盛土、家屋の高上げにより治水安全度の向上を図る。	平成14年度～平成19年度	